



© 25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L65582

NIE
教育に
新聞を

4

小学1・2年生向け

ジャックと豆の木

ジョン・シェリー再話/絵 おびかゆうこ訳

ジャックはある日、牛を売るために市場へ向かう途中で、不思議な男から魔法の豆と牛を交換しないかと誘われます。牛を渡し、豆を手に入れたジャックは喜び勇んで家に帰りますが、母親はだまされたと怒り、豆を外に投げ捨てました。次の朝、窓の外に大きな豆の木が生えていました。ジャックは木を登り、天へ。そこに建っていた大きな家を訪れると、背の高い女が「とっとと、にげな！うちのだんなは、人食い鬼だよ」と教えてくれました。女に頼みこみ、かまどにもぐりこんだジャックは鬼が眠ったすきに、金貨の袋をつかんで逃げました。しばらくして金貨を使い果たしたジャックは、再び天の鬼の家に。



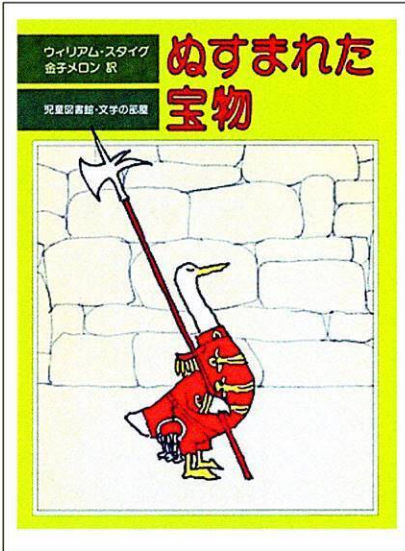
(福音館書店 1540円)

小学3・4年生向け

ぬすまれた宝物

ウィリアム・スタイグ作 金子メロン訳

ガチョウのガーウェインは、クマのバジル王に頼まれ、宝石やお金など宝物をしまっておく宝物殿で見張り役をするに。その仕事に飽きた頃、大変なことが起きました。ルビーが29個盗まれたのです。扉のカギは壊れていませんし、見張っている間、誰も怪しい者は通り過ぎていません。見張っている時は、絶対に眠らないようにしても盗みは止まりません。金貨が盗まれ、ついには貴重なダイヤモンドも消えてしまいました。王の他に、宝物殿のカギを持っていたのはガーウェインだけ。「ガーウェインいがいのいったいだれがぬすめましょうや？」と疑われ、大ピンチのガーウェイン。一方その頃、宝石や金貨を盗んだ真犯人はというと…。



(評論社 1760円)



あなたの「宝物」は？

お正月に宝船の絵を枕の下に敷いて寝ると、よい初夢が見られるといわれています。宝船にちなんで、宝物や大事なものが登場する本を紹介します。「宝」と聞いて皆さんが思い浮かべるものは何でしょうか？(山梨県立図書館 小林和美) =毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

ひとつだけ守りたいもの

リンダ・スー・パーク作 ロバート・セーヘン絵 佐藤淑子訳

チャン先生は、次の授業までに考えておく宿題を出しました。「想像してください。家が火事です。なにかひとつだけ、もちだせます。家族やペットは無事だから安心してね。いちばん大事なもののって、なにかしら？」。発表が始まります。大事なものは…。野球選手のサイン入りパンフレット、おばあちゃんが編んでくれた青いカーディガン、スニーカー、海で拾った貝殻…。思い出が詰まった品物に、生活に役立つ財布やスマホ。「母さんのインスリンキットをもちだすよ」と家族の命を優先する子もいます。友達の発言を聞いて、何にするか迷いながら18人の子どもたちが選んだ、ひとつだけ守りたいものとは!?



(玉川大学出版部 1980円)

中学生向け

チャリを盗んで、夜明け

黒川裕子著

ケガで職を失った父と暮らす巧海は中学3年生。生きていくために、怪しいとは思いつつ、友人の紹介してくれる「バイト」でどうにか生活しています。ある日巧海は、無料で勉強をしてくれる場所〈キッズフェニックス〉で、プロのピアノの「センセ」に出会います。巧海は、〈キッズフェニックス〉の仲間と一緒に、ハーモニカやバケツなどで音やリズムを作り、ピアノと合奏する楽しさを知ります。ブラジルのスラムで育った「センセ」は、巧海の置かれている状況を察し、「きみは今日から変わるんだ」と言い、ピアノの調律に使う道具、音叉を手渡します。苦しい日々が続く中、音楽と「センセ」の音叉は、巧海の心の支えになっていきます。



(講談社 1760円)